

**製品名: ストニン-1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab18402**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	83kDa

**抗原情報**

遺伝子名	STON1
別名	STON1; SALF; SBLF; STN1; Stonin-1; Stoned B-like factor
遺伝子 ID	11037.0
SwissProt ID	Q9Y6Q2
免疫原	抗血清はヒト STON1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 686-735

**背景**

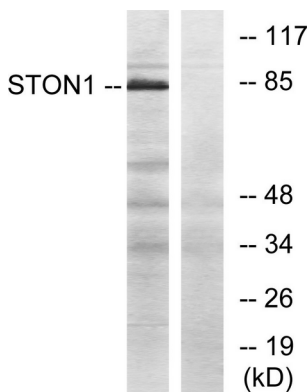
ストニン 1 (STON1) ホモサピエンス 細胞表面タンパク質のエンドサイトーシスは、細胞膜の内面で組み立てられる複雑な分子機構によって媒介されます。この遺伝子は、キロシヨウジョウバエの stoned B タンパク質の 2 つのヒト相同遺伝子のうちの 1 つをコード

しています。このタンパク質はエンドサイトーシス機構の構成要素に関連し、N末端のプロリンリッチドメイン、ヒト stoned B 様タンパク質に特異的な相同中心領域、およびアダプタータンパク質 (AP) 複合体の mu サブユニットに相同な C 末端領域からなるモジュール構造を示します。この遺伝子から、TFIIA- $\alpha/\beta$  様因子をコードする隣接する下流遺伝子へのリードスルー転写により、各遺伝子産物と同一性を共有する配列からなる融合タンパク質をコードする転写産物 (SALF) が生成されます。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2010年10月];注意: ここに示す配列は Ensembl 自動解析パイプラインから得られたものであり、予備データとして考慮する必要があります。、機能: エンドサイトーシス機構に関与している可能性があります。、機能: 精巣特異的転写因子として機能する可能性があります。 GTF2A2 および TBP (TATA 結合タンパク質) と結合して DNA に結合し、GTF2A2 と共存することで mRNA の転写を可能にします。、その他: このファミリーの他のメンバーとは異なり、NPF (Asn-Pro-Phe) 部位を含まず、EPS15、EPS15R、および ITSN1 と相互作用しません。、配列に関する注意: キメラ cDNA。 SALF (AC Q9Y6Q2) 遺伝子と GTF2A1LF 遺伝子の両方から生成された 1182 残基のキメラタンパク質の生物学的存在と関連性は不明です。、配列に関する注意: キメラ cDNA。 1182 残基のキメラタンパク質をコードする SALF 遺伝子と GTF2A1LF (AC Q9UNN4) 遺伝子の産物の生物学的存在と関連性は不明です。、類似性:Stoned B ファミリーに属します。、類似性:TFIIA サブユニット 1 ファミリーに属します。、類似性:1つの MHD (ミュー相同性) ドメインを含みます。、類似性:1つの SHD (ストニン相同性) ドメインを含みます。、細胞内局在:一部は膜結合しています。、組織特異性:精巣特異性。、組織特異性:普遍的。、

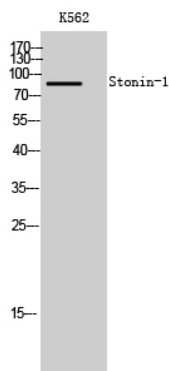
## 研究分野

基礎転写因子;

## 画像データ



STON1 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



ストニン-1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット解析

